

下呂飛驒地方でICT施工 女性オペレータがPC200iを操る

大石や転石がない砂地
良い環境に恵まれ初ICT

■ ■ 現場詳細 ■ ■

第工河総流H69-3号 上呂河道掘削
災害復旧工事。堆積した土砂を取り除き
河川の流れをスムーズにする。

【施工範囲】 340m

【施工土量】 掘削 14,000m³

【ICT建機】 PC200i

■ ■ 導入経緯 ■ ■

(株)日下部建設

土木部 工務主任 岡崎均さん

今回の現場は初めてのICT施工です。
会社としてICT施工に係る講習などには
参加をしており、いつかはICT建機
を使用した施工を実施したい思いがあり
ました。本現場は、i-Construction指
定工事であり、施工会社の(株)アクア東
海さんよりコマツのICT建機持込みが
あったことが導入のきっかけです。ま
た、我々が手掛ける下呂・飛驒地方の河
川には、大石や転石が多くスムーズに掘
削ができないという特徴があり、ICT
建機を活用しにくいことがネックです
が、今回の現場は砂地が80パーセント
程度と比較的ICT施工をし易い環境に
恵まれ良い機会を得ることができまし
た。



(株)日下部建設

土木部 工務主任 岡崎均さん



(株)アクア東海

工務部 竹知美鈴さん

岐阜県

(株)日下部建設様

大正12年創業

岐阜県下呂市に所在

100年先も、元気なまちを。

100年の感謝を、次代へつなく。

下呂の豊かで明るい

未来を実現するため、

私たちは「まちづくり」に挑戦します。

掲載月:2022年3月

0.7m³クラスに挑戦
楽しくて楽で安全！

■ ■ 導入効果 ■ ■

(株)アクア東海

工務部 竹知美鈴さん

普段は、0.25m³クラスの油圧ショベル
を運転することが多いですが、今回
0.7m³クラスで尚且つ初めてのICT建
機に挑戦してみないかと社内で声掛
け頂き、自身のステップアップも兼ねて
挑戦をすることに決めました。

ICT建機の稼働に必要な日々の準備運
動を確実に実施できれば、精度よく施
工を進められることに感動しました。車
載モニタに表示される3次元設計デー
タを見ながら施工を進めることは、普
段の整地とは異なりコツをつかむまで
難しく感じることもありましたが、3か
月程務めた今では楽しく掘削作業を進
めています。

(株)日下部建設

土木部 工務主任 岡崎均さん

丁張り作業や手元作業員が省略され
ることで約3割~4割の生産性と安全
性の向上が効果として表れました。女
性オペレータが初めてのICT建機を
巧みに操り、数カ月で上出来な仕上
がりとなりましたので、建設業にも
女性が活躍できる場所があるという
ことが広まると嬉しいです。

